

ご報告

植草幼児教育専門学校同窓会会員の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。

平素は同窓会活動にご協力賜り誠にありがとうございます。

植草幼児教育専門学校同窓会は昭和49年8月1日に設立され、第1期生から第35期生まで会員数が約4000人にのぼり、これまで皆様のお陰で活発に活動してまいりました。

しかし、平成20年3月閉校に伴い、新入会員がないことなどに起因して役員の人員不足となり、従来通りの活動が困難になっております。こうした現状を踏まえ数年前から役員で話し合いを重ね、同窓会運営を見直し、会の縮小化のため『同窓会総会を役員総会へと移行すること』を提案。そして、平成29年11月に開催した同窓会総会の審議事項に掲げ、総会に参加してくださった皆様から労いの言葉と共に承認をいただきました。

幼専同窓会は今後も植草学園さくら会と連携しながら存続させ、植草学園の発展に寄与できるよう役員一同努めてまいります。皆様もどうぞ、母校である植草学園に遊びにいらしてください。近況やクラス会などのご報告もお待ちしております。

今後の同窓会関連の情報は植草学園のホームページ（さくら会）でお知らせいたします。役員総会への移行に伴い平成30年4月1日より会則を変更いたしましたので、ホームページでご確認ください。

皆様のご理解、ご協力のほどよろしく願いいたします。

植草幼児教育専門学校同窓会 役員一同

さらに、時代のニーズに合わせ学園内で勤務する職員（役員）の仕事内容の変化（附属幼稚園から保育園、こども園へと移行し保育時間が延長したことなど）で勤務形態が大きく変わりました。また、会報などでお知らせしていますように、卒業時に皆様からいただいた同窓会会費も貯金を切り崩しながら活動を行っています。こうした現状を踏まえ、

植草学園大学開学に伴い閉校してからも、同窓生同士の交流や職場で一緒に働く先輩後輩のつながりを耳にすることが多くあり、植草学園の「幼専」は、皆様の心の中に深く残っていることが伝わってきます。年に1回開催してきた同窓会総会懇親会にも卒業生の方々が参加してくださり、お世話になった先生方を囲みながら話が弾み、毎年会を盛り上げてくださいました。植草学園や同附属園で勤務している役員も、「同窓生の皆様が集まれる場所、帰ってこられる場所」という願いのもと、勤務終了後に打ち合わせや準備、係の仕事に取り組んでまいりました。